

一泊手術及び外来日帰り手術について

「一泊手術」とは、手術当日の朝に入院し手術を受け、その翌日に退院できる手術です。患者さまは自分で歩いて病院に来て、自分で歩いて帰ることができます。

その日に帰る「外来日帰り手術」もあります。



一泊手術・外来日帰り手術

※詳しくは各科の担当医、看護師にお尋ねください。

(手術名)

外科	※リンパ節生検 (日帰り)
整形外科	手根管開放術 (日帰り) 腱鞘切開術 (ばね指) (日帰り)
皮膚科	皮膚、皮下腫瘍摘出術 (日帰り)
形成外科	眼瞼下垂手術 (手術内容による) (日帰り～一週間) 陥入爪根治術 (手術内容による) (日帰り) or (1泊) 皮膚皮下腫瘍摘出術 (小手術) (日帰り) 鼻骨骨折整復固定術 (小手術) (日帰り) 瘢痕形成術 (小手術) (日帰り)
産婦人科	不全流産、子宮体癌疑いの際の掻爬手術 (1泊) 外陰尖型コンジローム切除術 (1泊) バルトリン腺造袋術 (1泊) 円錐切除術 (1泊) or (2泊)
耳鼻咽喉科	※声帯ポリープ生検のみ (日帰り) ※頸部リンパ節生検 (1泊) 鼻骨骨折整復術 (1泊)
消化器内科	内視鏡的大腸 (直腸・結腸) 粘膜 (ポリープ) 切除術 (1泊)



外来で診察と検査を行い十分安全に手術・麻酔ができることを確かめてから、手術を行います。手術翌日には担当医による退院許可を受け退院します。手術の種類により翌日から数日後には職場 (学校) 復帰できます。退院後に何か異常があれば病院は 24 時間対応していますので、いつでもご連絡いただけます。

詳しいご案内は各科の担当医、看護師にお尋ねください。



『整形外科の外来日帰り手術』

整形外来看護師 緒方秀子

外来日帰り手術のメリット

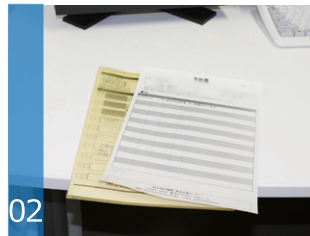
外来日帰り手術の最大のメリットは日常生活のリズムを変えずに手術治療が出来る点にあります。入院の必要がないので、精神的にも負担が少なく、さらに医療費も安くなります。

日帰り手術可能な疾患

- ・手指の骨折
- ・ばね指
- ・手根管症候群 等 局所麻酔で出来る手術



外来診察時に手術日を決定し、手術に必要な検査、手術の説明があります。



手術当日は、来院後外来で血圧等を測定し、手術室へ案内します。



手術室へ案内します。



手術後は帰宅可能です。

くす通信

第 148 号
2013年 6 月 1 日

国立病院機構 熊本医療センター発行

整形
外科

とうこつえんいたんこっせつ 橈骨遠位端骨折

について

外来

一泊手術及び 外来日帰り手術について



「くす (樟)」の由来について

くす (樟) は常緑の広葉樹で、熊本城内に多く見られます。種々の精油成分を含み、良い香りがします。樟脳をはじめ色々な薬用成分が抽出されるなど有用な薬用樹でもあります。

また、くすし (薬師) とは、医師のことを指し、くすしぶみ (薬師書) は医術に関する書物のことを言います。

本誌はこの「くす」にあやかり、健康な生活を送るために情報を提供しております。お気軽にお読み下さい。

国立病院機構 熊本医療センター

診療科

■ 総合医療センター 総合診療科、血液内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科

■ 消化器病センター 消化器内科

■ 心臓血管センター 循環器内科、心臓血管外科

■ 脳神経センター 脳神経外科、神経内科

■ 感覚器センター 眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科

■ 画像診断・治療センター 放射線科

■ 救命救急センター 救急科

■ 精神科 ■ 小児科 ■ 外科 ■ 整形外科

■ リハビリテーション科 ■ 泌尿器科 ■ 産婦人科

■ 歯科口腔外科 ■ 形成外科 ■ 麻酔科 ■ 病理診断科

🕒 診療時間 8:30 ~ 17:00

🕒 受付時間 8:15 ~ 11:00

🕒 休診日 土・日曜日および祝日

急患はいつでも受け付けます

〒860-0008 熊本市中央区二の丸 1-5

TEL 096 (353) 6501 (代表)

FAX 096 (325) 2519

H P <http://www.nho-kumamoto.jp/>

整形外科

整形外科医は7人で、それぞれの専門分野である、脊椎、関節、リウマチ、四肢外傷などを中心に診療を行っています。外来診察日は月・水・金で、火・木は手術日となっています。新規の患者様は、平日の午前中のみ受け付けております。外来通院でのリハビリは行っていません。

年間手術数は1000例を越え、骨折など外傷に対する手術が約半数です。脊椎手術が150例、人工関節手術が150例等で、ほぼ毎日手術が行われています。高齢の患者様や合併症をお持ちの患者様は他科と連携して安全に治療を進めています。

また、地域連携医療に積極的に取り組んでおります。手術後に転院してリハビリを継続する場合でも医療連携バスを用いて安心して治療を受けることができます。

どうこつえんいたんこっせつ

橈骨遠位端骨折について



整形外科医長

中馬 東彦

どうこつえんいたんこっせつ

橈骨遠位端骨折とは？



橈骨（とうこつ）は、前腕にある2本の骨のうち、親指側の骨のことで、橈骨の手首近くでの骨折を総称して橈骨遠位端骨折といいます。転倒し、手を強くついた際に発生しやすい骨折です。若年者ではスポーツや交通事故、転落事故などの高エネルギー外傷が原因であることが多い一方、高齢者では、屋内での転倒など軽微な外力でも骨折が生じます。骨折を起こすと、手首周囲の強い腫れと疼痛があり、手に力が入りにくくなる等の症状が見られます。

診断と治療

病院ではまず視診で腫れ具合や痛みの場所を調べ、レントゲンで骨折の有無を確認します。骨折の程度、転位（骨のずれ）の程度により、治療方法が異なります。また、骨折した骨が皮膚を突き破って骨が見えている場合（開放骨折）は緊急手術が必要となります。

1. ギプス治療

骨折の転位が小さい場合はレントゲン室で骨折のずれを治し、安定した整復位が得られた場合はギプスによる治療が可能です。その後、通院で週に1~2回レントゲンで骨折の状態を確認し、整復位を良好に保つことが出来ればそのまま4~6週間のギプス固定を行い、その後手首の関節運動（リハビリ）を開始していきます。途中で骨折部がずれてきた場合や、最初から整復位を保持出来ない場合は後述の手術治療を行います。



2. 手術治療

手術治療は骨折の状態や骨の強さ、転位の程度等によりいくつかの手術方法がありますが、ここでは最近よく行われるロッキングプレートを用いた手術方法を御紹介します。金属プレートとスクリュー（ネジ）を連結出来るように特殊加工されたロッキングプレートをもちいた固定方法は2000年頃より骨折治療に用いられ始め、比較的弱い骨でも整復位を良好に保つことができるため、現在橈骨遠位端骨折の治療の主流となっています。麻酔後、手首の掌側を4~5cm切開し、骨折を整復して、プレートと数本のスクリューで骨折を固定します。手術時間は1時間ほどです。術後は多くの場合、ギプスは不要となり、手術翌日から手首を動かす練習が出来るため、骨折による関節の拘縮を減らすことが出来ます。ただし、骨がつながるまでの期間を短縮出来るわけではないため、用心する期間はギプス治療と変わりません。



橈骨遠位端骨折受傷時のレントゲン



手術後のレントゲン

転倒して手首の痛みが生じた時は？

転倒し、手をついた際に手首の痛みを生じた際は、手指を動かすことができても骨折していることがあります。捻挫か骨折かはレントゲンで確認しないと診断が難しいことがあります。

骨折が疑わしい時は、患部の固定と挙上、アイシング（冷やす）などを行いながら、速やかに医療機関を受診して下さい。

